



【今回の学校より、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。(〇)】

全校児童を対象として歯科検診が行われました！

医療法人にしもと歯科医院の西本院長先生をはじめ山田先生、相良先生、看護師の先生方、歯科衛生士の先生方には大切な歯に関するご講話（6年生）やフッシング指導の授業（3年生）に至るまで懇切丁寧な心の授業をしてくださいましたことに伊岐須小学校職員と児童一同、深くお礼を申し上げます。(。_。)



西本院長の大切にされているお言葉は・・・

「初心忘れるべからず」です。

山田先生の大切にされているお言葉は・・・

歯医者さんには定期的に行きましょね

相良先生の大切にされているお言葉は・・・「初志貫徹」ですね。 歯科衛生士の3名の先生方からは「人生は清楚とともに生きている」「なんとかなる」「やらずに後悔するよりやって後悔する方が賢明である：イタリアの思想家ニコロ・マキャヴェッリ氏」をいただきました。(子ども達のキャリア

発達や健康な歯を持った人生のためにこれらの言葉を贈らせていただきます。先生方お忙しい中ありがとうございました。)



2年生「校区探検」の重要性にせまる

安田教頭先生から頂いた、14:30にご報告がありました。先ほどホークスさんからプレゼントが宅配便で届いたそうです。明日28日に1年生さんと4年生さんに配付できそうです。

簡単に校区探検と思われがちなのですが、飯塚市役所



にある教育委員会に校区外見学の申請書や行程や引率経路の地図をだされたり、二瀬交流センター長さんに見学依頼書を提出し、ご都合を伺ったりと綿密な打ち合わせの上に成り立っています。また、2年生の生活科の「校区探検」における、先生方のつけたい力や思いや願いは、私に出された計画書に示されたり、インタビューさせていただいたり、学級通信を事前事後に読ませていただいたりしますと心にしみるように伝わってまいります。第1に「地域の中で気付いたことを、伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する力を育みたい!」を考えられています。達成させたいお子さんの学習後(単元後)の姿としては2点であることが私(松尾史朗)には上記の資料や言葉からわかるのであります。それは? ①「自分の生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることが分かる子どもになってほしい。」②「地域の人々や場所に親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができる子どもになってほしい。」の2点です。奇跡的に雨が降らなかった理由としては、昨日引率された2年生の5名の先生方の2年生のお子さんへの思いや願いや教育愛の力が、天体気象をも動かした気がして止みません。



見学し、学びを深めていく学習後の子ども達の活動が楽しみです。引率の先生方、二瀬交流センターのセンター長さんをはじめ職員の先生方ありがとうございました。素敵ないい出会いができました。これをきっかけに2年生の子ども達が友達とたまには喧嘩したり仲直りしたりしながら愛される地域人(ひと)としての成長をこれからも見守ってください。どうかお願いいたします。<30年ぶりの伊岐須小の子ども達を見ていて今思うのは、今も昔も変わらず何かが起こっても教師を介して誤解を解きあって双方が歩み寄り、折り合いをつけあって友達と仲直りできて次のステップに進んでいっているから素敵だなとかすごいとか素晴らしいとかを感じております。大きいところで言えば国と国も歩み寄っていきけるはず。伊岐須小の子どもたちを見守ってほしいなとか・・・生活科の校区探検の姿を通してふと思えます。・・・ひとは一人では生きていけませんから。>

ジャン・アンリ・ファールさんの観察眼を持つ少年たち~モンシロチョウのたまごを観察中との事です~



パトロール後に、校舎の安全点検で回っておりますと、花壇で熱心に観察と研究をしている2名のお友達と昨日出会い、ので紹介します。



- ① まず考える事、辛抱強く考え尽くすこと。
- ② 私は自分の無知を、そうひどく恥ずかしがらず、わからないことについては、全然私にはわからない、と白状しよう。
- ③ 人間というものは、進歩に進歩を重ねた挙げ句の果てに、文明と名付けられるものの行き過ぎの為に自滅して倒れてしまう日が来るように思われる。

~ジャン・アンリ・ファール氏(フランス)の3つの名言より~